

第1回浜松市ユニバーサルデザイン審議会会議録

日 時：令和元年6月27日（木） 10:00～11:30
会 場：南部協働センター2階 第3講座室
出席委員：伊豆裕一会長、太田順子委員、兼子とみ江委員、鈴木里枝子委員、
趙驕陽委員、中西利充委員、松井章子委員、吉林久委員
欠席委員：平松達宏委員、安田育代委員
事務局：山下昭一市民部長、鈴木江利子UD・男女共同参画課長、近藤雅訓
課長補佐、河合多恵子UD推進グループ長、井原卓巳
傍聴者：1名（報道関係者）
会議録作成者：UD・男女共同参画課 井原
記録方法：発言者の要点記録（録音の有無：有）

《会議次第》

- 1 開 会
- 2 委員委嘱
- 3 あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 職員紹介
- 6 会長及び副会長の選出
- 7 議 事
 - (1) 令和元年度事業計画について
 - (2) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）
第2期推進計画進捗状況について
- 8 閉 会

《配付資料》

議事資料

- | | |
|------|---|
| 資料1 | 今後のユニバーサルデザインの取組について |
| 資料2 | 令和元年度事業計画 |
| 資料3 | 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ） 第2期推進計画進捗状況について |
| 資料4 | 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ） 第2期推進計画進捗状況 |
| 参考資料 | 改正バリアフリー法について ピクトグラム啓発ちらし ブラジルパラリンピック選手団サポートボランティア募集ちらし |

《会議の経過》

1. 開会

事務局挨拶

2. 委員委嘱

3. あいさつ

山下部長挨拶

4. 委員自己紹介

5. 職員紹介

事務局自己紹介

6. 会長及び副会長の選出

中西委員の推薦により伊豆委員が会長に選出

伊豆会長の指名により太田委員が副会長に選出

伊豆会長あいさつ

太田副会長あいさつ

7. 議事

(事務局)

当審議会は、「浜松市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、公開会議とする。また会議録は事務局で作成し、「浜松市附属機関等の会議録の作成および公開に関する要綱」に基づき、発言した委員の名前を記載の上、公開することとする。

今年度より、UD推進のための環境づくりとして音声の文字化変換システム「UDトーク」を導入した。今後は「UDトーク」を使用して会議録の作成も行っていきたいため、ご協力をお願いする。

議事の進行については、浜松市ユニバーサルデザイン審議会運営要綱第4条の規定により議長は会長が務めるとされているため会長をお願いしたい。

(1) 令和元年度事業計画について

事務局より

(資料1) 今後のユニバーサルデザインの取組について

(資料2) 令和元年度事業計画

について説明

(伊豆会長)

事務局からの説明について、質問や感想があればお願いしたい。

(吉林委員)

UDの認知度と理解度にはギャップがあると考えます。UD週間について、周知のため、各区役所や協働センターにポスター等の掲示を行ってはどうか。

(事務局)

資料に記載は無いが、UD週間のポスターは毎年作成して、協働センター等にて掲示を行っている。平成30年度については、ブラインドサッカー体験教室等イベントの周知と併せて、UD週間を啓発するという形をとっている。

(伊豆会長)

吉林委員の意見は、審議会とは別に、一市民として見ていただいた感想である。市の考えていることが市民に十分に伝わっていない可能性もあるため、しっかりとした広報をお願いしたい。

毎年の計画をブラッシュアップする形で積み上げ、今できることと将来に向けた布石のバランスに配慮して進めていると思うが、ぜひ今後もその辺りのバランスをよく考えて、フィードバック、ブラッシュアップをしていただきたい。

(鈴木委員)

ユニバーサルサービス研修の対象は市職員ということだが、市の指定管理施設等の職員も窓口対応等を学ぶことができる機会を設けてもらいたい。

(事務局)

ユニバーサルサービス研修については、指定管理施設の職員への声掛けも行っている。参考までに、平成30年度は3名程度の指定管理施設の職員にご参加いただいた。しかし、どこまで周知されているかという問題もあるため、課題として周知の方法を改めて検討していきたい。

(伊豆会長)

将来的には公共施設に限らず、民間企業等に対しても門戸を開くような取組になれば良いと思う。

(2) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）

第2期推進計画進捗状況について

事務局より

(資料3) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U・優プランⅡ）

第2期推進計画進捗状況について

(資料4) 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画 (U・優プランⅡ)
第2期推進計画進捗状況

について説明

(伊豆会長)

事務局からU・優プランⅡの進捗状況について、主に評価が○の概ね達成から◎の計画どおり達成、◎から○という事業を中心に説明があったが、質問や感想があればお願いしたい。

(吉林委員)

○から○と達成度に変化のない事業に注目した。

中でも、「No.4 多様性理解のための教育」について、福祉に関する学習を実施した中学校の割合が一様に低い。理解の深化や意識づけは小学校、中学校と継続していくことが必要であるため、力点を置いていただきたい。

また、「No.30 わかりやすい案内サインの設置」及び「No.46 道路施設のUD化推進」は生活に密着した事業であるため、早急に着手していただきたい。

(事務局)

担当課にその旨報告させていただく。

(伊豆会長)

進捗状況については、◎が多すぎると最初から計画が甘い、そうでないと努力が足りないと捉えられる。

確かに、指摘のあった○から○という事業の改善は必要である。

その一方で、「No.2 教職員UD研修」のように、◎から◎というような上位で安定している事業については、今後も努力したい点が強調されるような工夫があると良い。

(中西委員)

「No.36 タブレット端末等を利用した多言語通訳」について、情報提供をした。今年の3月に浜松市、商工会議所、金融機関等を含めた9団体がインバウンド日本一宣言をした。外国からの旅行客を増やしていくことは我々のミッションにも通じるが、その中で、キャッシュレスが世界的な観光誘客の流れとなっている。その中で、ポケットクという74か国語対応の携帯変換機を商工会議所が500台購入し、クレジットカード等キャッシュレスの推進を条件に、無償で貸与していく取組を進めている。タブレットを否定するわけではないが、商店等にとって非常に使い勝手の良い取組をご紹介できればと思った。

(伊豆会長)

キャッシュレス決済について、国によっては現金が使えない国もあり、おそらく日本はそちらの方向に進むと考える。一方で、高齢者の方で現金を使いたいという方もいらっしゃるため、その辺りがこれからのUDの1つの課題であると思う。

(趙委員)

タブレット通訳を借りることが出来るのは大変助かるが、そもそも日本にはWi-Fiが少ない。そのため、スマートフォンを持っていても使えない場所が多いのはどうかと思う。

また、通訳を頼まれた際にアクトシティや遠鉄ストア等の名前を統一しないと分からない。

(伊豆会長)

浜松市内ではフリーのWi-Fiスポットがどのくらいあるか把握はしているか。

(事務局)

市中心部は商店会連盟が中心になって、フリーWi-Fiを設置していると聞いている。Wi-Fiの信号がシステムが違くと全て途切れてしまうということもあり、遠鉄さんが推奨して進めていた、浜松フリーWi-Fiで統一しようという流れが何年前か前に合意され、現在市中心部においては、浜松フリーWi-Fiを中心に設置をしているという状況と聞いている。しかし、まだ全ての場所が網羅されている状況ではないと思う。

(趙委員)

協働センターにもフリーWi-Fiは設置されていない。

(事務局)

協働センター、そもそも言うとも市役所内にも無いため、今後の検討課題として進めていきたい。

(伊豆会長)

実は、静岡文化芸術大学にもフリーWi-Fiが無いため、学会等の際に恥ずかしいというような話が何度かあった。やはり、日本は海外に比べてとても遅れている。新幹線にも、ようやく最近設置されたぐらいである。浜松市が先進的な街であるならば、他都市に先駆けて取組が進むと良いと思う。

7. 閉会